

式 辞

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。本日、武庫川女子大学短期大学部の一員となられた皆さんを、この公江記念講堂に迎え、入学式が挙行できますこと、大変うれしく、教職員、在学生一同、心より歓迎申し上げます。

本来であれば、皆さんを温かく見守り、支えてこられたご家族の方々とともに、この晴れの日をお祝いしたいところですが、この度は感染防止の観点から式へのご臨席についてご理解を賜ることになりました。ご息女のご入学を衷心よりお祝い申し上げますとともに、本学の教育方針にご理解いただき、ご息女の教育を本学に託してくださいましたことに感謝申し上げます。

本学は、短期大学部7学科、大学10学部17学科、大学院8研究科、さらには13の附置研究所やセンターを有し、国公私立の女子大学で最多の1万人が学ぶ、教育・研究の水準、教育環境、規模などあらゆる面で誇れる総合大学です。本学にはいわゆる文系、理系、健康スポーツ系、芸術系、生活系、保健衛生系、社会科学系におよぶ広い分野があり、総合的かつ専門的に学べる魅力あふれた教育環境を整備しています。

本学の母体である武庫川学院は、昭和14年（1939年）、公江喜市郎先生（正門正面に等身大の銅像が立っています）によって創設されました。創設の契機は昭和6年（1931年）、当時の兵庫県的首席視学、現在の県の教育長にあたる職に就かれていた公江先生が、英国のパブリックスクールであるイートン校やオックスフォード大学、ケンブリッジ大学等の私学を訪問し、人間形成に重きを置いた教育に深い感銘を受けたことにあります。

公江先生の志そのままに、今日まで、第2代学院長・日下晃先生、第3代現学院長大河原量先生のリーダーシップのもと、教職員、学生、教育後援会の皆さま、そして19万人もの卒業生が心を合わせ協力しあい、発展の歴史を築いてまいりました。

私学には独自の教育理念があります。私ども武庫川学院の教育理念は、「立学の精神」によって示されています。「立学の精神」は、「高い知性」「善美な情操」「高雅な徳性」を兼ね具えた有為な女性を育成することです。

「高い知性」とは、「常に真理を追い求めるすぐれた知性」です。

「善美な情操」とは、「感性豊かな、潤いのある心」です。

「高雅な徳性」とは「人を思いやり、人のために尽くす精神」です。

私たちは、この3つを兼ね備えた女性の育成を目指し、幅広い教養と豊かな人間性を育む全人教育を行い、人・家庭・社会に貢献できる女性を育てることを「教育目標」に掲げています。

令和元年（2019年）、武庫川学院創立80周年に際し、さらにその先の90周年、100周年に向けて、「一生を描ききる女性力を」と題した「MUKOJO Vision」を公表しました。著しく変化する新たな時代に向かって、自らの意志と行動力で可能性を拡げ、生涯を切り拓いていく実力を備えた個性輝く女性を社会に送り出すという本学の信念と決意を示したものです。

個性輝く自立した女性は、何事に対しても、まず自ら考え、積極的に課題に取り組みます。短期大学部での勉学は、教員から知識を一方向的に受け入れるのではなく、自分がなぜその知識を必要とするのかを自分自身で考え、友人とディスカッションをし、教員に質問をし、本を読むなど主体的に学ぶことです。学びの場所は教室内にとどまりません。

学外実習、ゼミ活動、ボランティアや学友会活動、さらには自治体や企業へのインターンシップ等、キャンパスの外にも学びの場は広がっています。本学が連携協定を結んだパートナーは50を超え、地域社会の課題解決にともに取り組んだり、他大学の学生とアイデアを出し合ったり、様々なコラボレーションが生まれています。こうした経験は、皆さんを鍛え、社会に目を開きます。ためらわず、貪欲に取り組んでください。

今日から始まる武庫女の多彩なプログラムによる日々の学びが大きな経験となり、2年後に花を咲かせ、実を結び、皆さんを自立させ、進む道を切り拓きます。

繰り返しになりますが、皆さん、自ら深く考え、積極的に行動し、女性活躍の時代を担える人材として、わが国はもちろん、世界で活躍することを目指してください。私ども教職員はそのために一丸となって全力を尽くします。

最後に、ご家族の皆さまには本学の教育方針への一層のご理解を賜りますようお願い申し上げますとともに、新入生の皆さんのご入学を心からお祝いし、今後の皆さんのご活躍を祈念し式辞といたします。

令和4年4月4日
武庫川女子大学短期大学部
学長 瀬口 和義